

## 第 2 編

### Ⅲ 後期基本計画

# 生命都市推進プロジェクト

## 生命都市推進プロジェクトについて

- 県都まえばし育成プロジェクト
- ふれあいコミュニティ創造プロジェクト
- クリーンシティ実現プロジェクト
- まえばし産業成長プロジェクト
- まえばしクオリティ向上プロジェクト

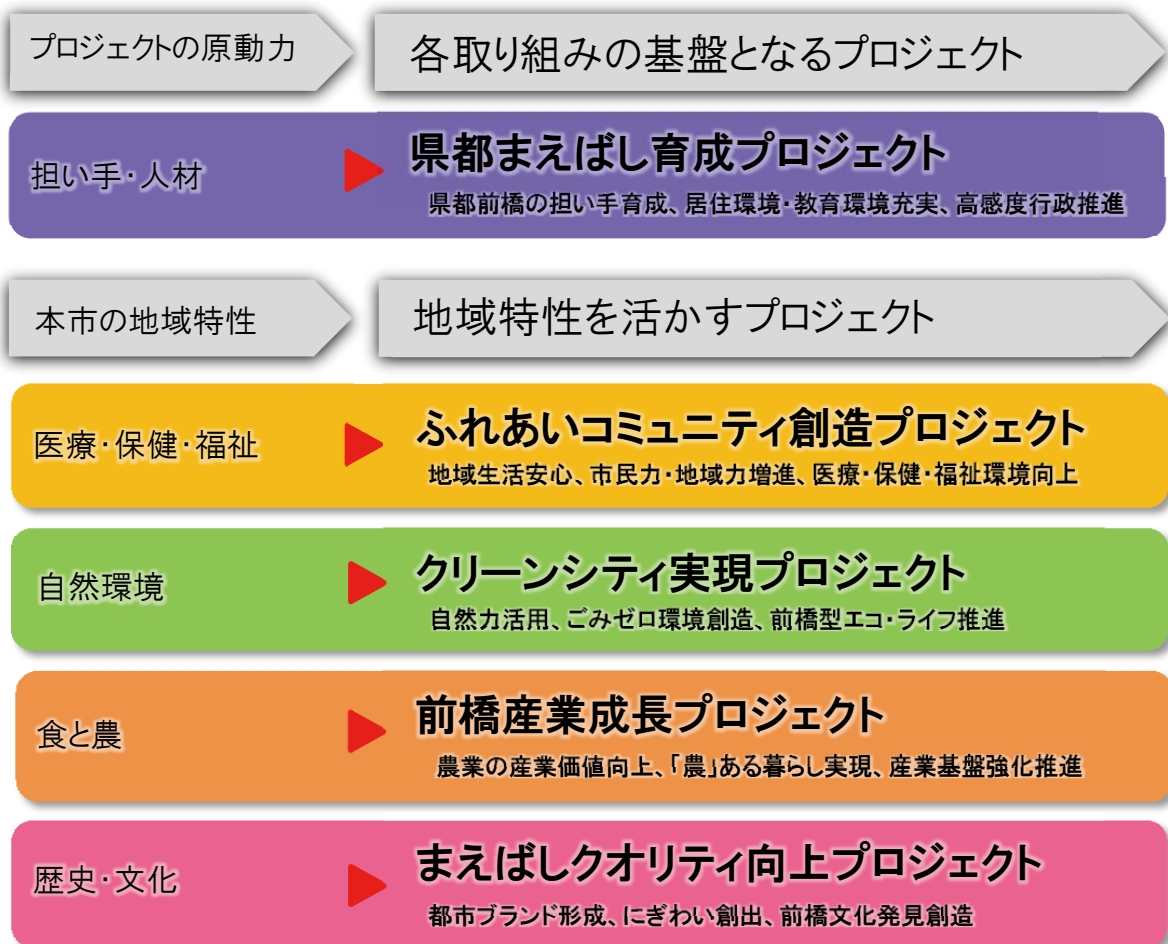
# 生命都市推進プロジェクトについて

生命都市推進プロジェクトは、「生命都市いきいき前橋」の考え方を具現化するために先行的・先導的に推進する重点施策で、本市が実施するさまざまな施策・事業の中でも優先度の高い取り組みとして位置づけるものです。

- 各プロジェクトの原動力となる担い手の育成・人材の確保を図りながら、本市が誇る地域特性を積極的に活用した取り組みを進め、「新たな都市の恵み」の創出を目指します。



- 各取り組みを支える基盤となるプロジェクトと、本市の地域特性を活用する4つのプロジェクトで構成し、それぞれ3つのプログラムを実行します。



- プロジェクトの推進にあたっては、市民・地域はもとより、各プロジェクトに関わるさまざまな団体、関係機関、民間事業者との連携を図りながら、分野横断的に展開します。

プロジェクトの原動力

担い手  
人材

新たな都市の恵み

各プロジェクトの原動力となる担い手を育成しながら、都市の成長を支える地域特性を最大限活用し、県との新たな魅力を育てます。

医療  
保健・福祉

自然環境

食と農

歴史・文化

都市の成長を支える地域特性

# 県都まえばし育成プロジェクト

プロジェクトの原動力

『担い手・人材』



推進の土台

『効率的な行財政運営』



都市の活力を維持するには、例えば、産業基盤の充実や都市間交流の活性化など、さまざまな要素が必要とされますが、これらはすべて「人」の力、つまり「マンパワー」が存在することを前提とするものです。人口減少が本格化する今後、マンパワーの確保は各都市共通の課題となっており、地域で活躍できる人材を地域で育てていく必要性が高まっています。

生命都市推進プロジェクトは、市内に存在するさまざまな地域特性を活用し、「新たな都市の恵み」を創出するための先行的・先導的な取り組みです。これらを具体化するには、その原動力となるマンパワー＝生命都市の担い手をいかに育成・確保できるかが重要となります。そのためには、市民の本市への愛着と関心を高め、まちづくりへの参画を促すとともに、本市で学び・育った子どもが将来、さまざまな社会へと羽ばたいていく中で、特に市内（地元）でも活躍できる環境を整えていく必要があります。また、各プロジェクトを効果的に推進するためには、マンパワーの確保とあわせて、社会潮流や市民ニーズの変化に対して柔軟に対応できる感度の高い行財政運営を実現する必要があります。

生命都市いきいき前橋は、「担い手の育成」や「居住・教育環境の充実」、「行政の経営能力の向上」によって、県都前橋の「成長の原動力」を強化し、「新たな都市の恵み」の創出を目指します。

## 重点1

## 県都前橋の担い手育成プログラム

子どもたちが小さな頃から、自然、農業、歴史・文化など、本市固有の地域特性に関わる機会を充実することで、郷土への愛着心を育むとともに、各界で活躍する本市ゆかりの著名人との交流や、多様な体験活動などを通じ、将来に対する夢や希望を育み、県都前橋を背負って立つ次代の担い手を育成します。



**期待される効果** 前橋で学び・育った子どもが地元で活躍する環境の創出

## 重点2

## 居住環境・教育環境充実プログラム

都市の活力を持続させるため、地域や民間事業者の参画を得ながら、若者の定住促進や子育て世代への支援、他都市からの移住促進を図り、人口減少対策に取り組みます。

また、教育面に関しては、教員の負担に配慮しながら、少人数指導や指導内容の質の向上に努め、きめ細かな指導体制・教育環境の実現を目指します。



**期待される効果** 市内定住者の増加と前橋市の教育力の向上

## 重点3

## 高感度行政推進プログラム

市役所の業務体系や公共施設等の効率化・最適化を進め、行政サービスの水準確保に努めるとともに、ICTを活用した業務改革・利便性の向上や、優しさと温かみのある市政運営に努め、市民から信頼される市役所づくりを進めます。



**期待される効果** 柔軟性と信頼度の高い行財政運営の実現

# ふれあいコミュニティ創造プロジェクト

地域特性

『充実した医療・保健・福祉環境』



推進の土台

『絆でつながる市民の力・地域の力』



本市には、多くの医療・保健・福祉の専門機関や施設があり、また、その従事者を養成する大学や専門学校も数多くあります。こうした特徴は、市民の健康を支えるだけではなく、身近な場所で適切な医療を受けられる安心感から、市民の精神的な支えにもなっています。

一方、地域に眼を移すと、人々のライフスタイルや価値観の多様化に伴い、住民相互のつながりの希薄化とともに、孤立化・孤独化する人々が増加するなど、地域コミュニティの機能が低下してきているといわれています。人口減少が進み、国民の4人に1人が高齢者となるこれからの社会においては、かつての地域社会のように、住民同士が相互に支えあう仕組み（互助＝近親者や近隣住民同士による助けあい、共助＝互助よりも広範にNPOや市民団体を含めた助けあい）をいかに回復させ、公助（公的機関による支援）との連携・協働を図ることができるかが課題となっています。

充実した医療・保健・福祉環境を背景に、共助・互助の仕組みが定着すれば、市民や地域が担う、新たな医療・保健・福祉サービスが誕生する可能性があります。生命都市いきいき前橋は、市民力・地域力の増進を通じ、互いに支えあい、安心して健康に暮らせる「ふれあいコミュニティ」の創造を目指します。

## 重点1

## 地域生活安心プログラム

病気・障害・高齢になっても安心して暮らせるまちの実現に向け、地域住民同士が主体的に支えあい活動に取り組める環境の整備を図ります。

また、一人でも多くの方が地域活動やボランティアに参加しやすい環境を整えるため、ポイント制の導入やコミュニティビジネスの支援などの新たな共助の仕組みづくりを進めます。



## 期待される効果

互助・共助に関わる人々の増加

## 重点2

## 市民力・地域力増進プログラム

市民や地域をはじめとする多様な主体が公的活動に参加する「新しい公共」の創出に向け、市民・地域・行政の役割分担や協働のあり方を検証するとともに、協働型事業の創出・拡大を図ります。



## 期待される効果

個性豊かなまちづくりに取り組む地域の増加

## 重点3

## 医療・保健・福祉環境向上プログラム

医療・保健・福祉機能の効果的な連携強化を図るとともに、次代の医療・福祉を担う子どもたちの夢や憧れを育み、医療・保健・福祉環境のさらなる向上を目指します。



## 期待される効果

医療・保健・福祉環境のさらなる充実、この分野への就労を志す若者の増加

# クリーンシティ実現プロジェクト

地域特性

『豊かな自然環境』



推進の土台

『災害に強い安全・安心な風土』



美しい緑が映える赤城山、豊富な水量をたたえる利根川など、本市では身近な生活シーンで様々な自然を感じることができます。また、本市は日照時間が長く、地震などの自然災害の影響が少ないとされており、まさに自然環境に恵まれた地域であるといえます。

環境宣言都市である本市としては、それらの恩恵をただ享受するのではなく、恵まれた風土ならではの取り組みとして、クリーンエネルギーや新たな環境技術の導入に積極的に挑戦し、自然からの恵みに恩返ししていかなければなりません。

また、世界的に地球環境への関心が高まる中、わたしたち一人ひとりが日々の暮らしそのものが環境に影響を及ぼしていることを自覚し、周辺環境に対して負荷をかけない暮らしを送るとともに、次代を担う子どもたちのためにも、安全かつ美しい形で自然を残せるよう、努力していく必要があります。

生命都市いきいき前橋は、クリーンエネルギーの導入、ごみ減量の徹底、周辺環境の美化を積極的に推進する「クリーンシティ」の実現を目指します。



## 重点1

## 自然力活用プログラム

日照時間の長さや豊富な河川水量、災害に強い風土を最大限活用し、環境への負荷の少ないクリーンエネルギーの導入促進に取り組みます。

また、地域におけるエネルギー自給率の向上や、再利用可能な資源を有効活用するため、新たな環境技術の導入促進と、それを活かしたまちづくりの研究を進め、資源やエネルギーの高効率利用と地域内循環を目指します。



## 期待される効果

資源やエネルギーの地域内循環

## 重点2

## ごみゼロ環境創造プログラム

ごみ（紙ごみ・食品残さ・枝木等）排出量の大幅削減に向けて、まずは市役所から排出されるごみの徹底的な減量に取り組み、事業系ごみの全体の減量化をけん引するとともに、全市民参加型のごみ減量化施策の具体化を進めます。また、ごみ減量化のための啓発活動を強化し、ごみ問題への意識を高めます。



## 期待される効果

排出されるごみの大幅削減

## 重点3

## 前橋型エコ・ライフ推進プログラム

自然にやさしい生活様式の確立に向けて、身近なところから省エネやリサイクルの仕掛けづくりを進めるとともに、自転車利用や緑化活動などの拡大・参加促進に取り組みます。



## 期待される効果

環境負荷の軽減、環境に配慮した生活様式の確立

# まえばし産業成長プロジェクト

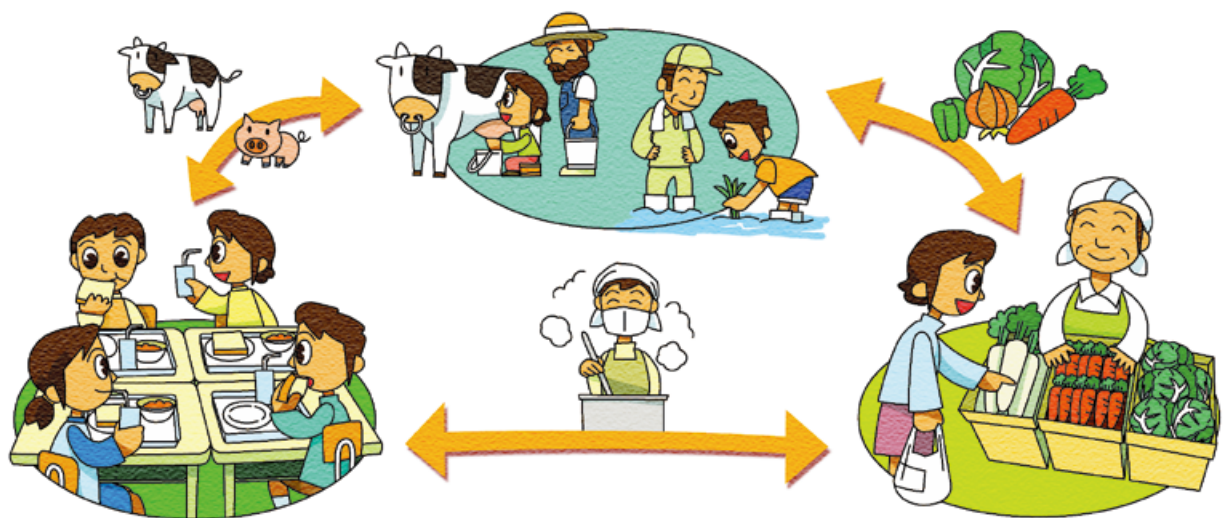
地域特性

『全国有数の農業生産力』



推進の土台

『伝統ある「ものづくり」の精神』



本市は、30万人を超える人々が暮らす一大消費地であると同時に、全国有数の農業生産額を誇る一大生産地であり、「消費と生産」、つまり「食と農」が隣り合う地域特性を有しています。

また、本市は、かつての製糸業の隆盛を背景に、製造・加工技術が発展し、現在でも家具や金型製造、食品加工などの業種が多く、伝統的に「ものづくり」の精神が根付いた都市でもあります。

一方、産業や流通形態が多様化した現在、旧来の産業構造の枠を越えた「六次産業」が注目されています。この六次産業は、第一次～第三次産業を融合させた新たな産業形態であり、後継者不足などによる衰退が懸念される農業を活性化する方法として期待されており、食と農の地域特性と、ものづくりの精神を有する本市は、まさに格好の条件を備えた都市であるといえます。

今後、市民をはじめ、多くの人々が「農」への関心や関わりの度合いを深められる機会の創出に努めながら、前橋産農畜産物のブランド化や農業の六次産業化など、農業の価値や魅力の向上に努めるとともに、本市の産業基盤全体の強化を図り、県都前橋にふさわしい「産業の新しい価値」の創出を目指します。

## 重点1

## 農業の産業価値向上プログラム

食と農の地域特性と、ものづくりの精神を有する本市固有の特徴を活かし、生産者・加工業者・販売業者による農商工連携と、農業の六次産業化を積極的に推進します。

また、農畜産物・加工品のブランド化と、産学官の連携による新たなブランド品開発を進め、「前橋産」の商品価値・競争力の強化を図るとともに、大消費地への売り込みや各種メディアの活用によるPR活動等を通じ、多様な販売チャネルを開拓し、販路拡大を図ります。



## 期待される効果

農畜産物・加工品の販路拡大、前橋ブランドの定着

## 重点2

## 「農」ある暮らし実現プログラム

農業を持続性あるものとするため、農業体験の充実や遊休農地・市民農園の活用などを通じて、多くの人の農業への関心・興味を喚起するとともに、多様な主体が農業に参画する機会の拡充を図り、新規参入者の育成、働く場の確保を目指します。



## 期待される効果

農地の有効活用、農業へ参画する人の増加

## 重点3

## 産業基盤強化推進プログラム

新たな雇用創出につながる中小企業支援施策の充実を図るとともに、本市の地域特性を活かした産業集積や、「ものづくり」の強みを活かした産学官連携を促進し、都市の成長をけん引する産業基盤の強化を推進します。



## 期待される効果

地域特性を活かした新産業の創出、新たな雇用の拡大

# まえばしクオリティ向上プロジェクト

地域特性

『歴史的・文化的資源』



推進の土台

『発掘・発信・交流・創造』



「水と緑と詩のまち」をキャッチフレーズとする本市は、赤城山や利根川などの豊かな大自然に恵まれ、また、広瀬川に代表される情緒あふれる風土から、萩原朔太郎をはじめとする多くの詩人を輩出した詩情豊かな都市として、その歴史的・文化的価値を永きにわたり守り続けてきました。

これらは今や、本市にとって大変貴重な財産であり、次の世代へと着実に引き継いでいくため、市民の愛着心や郷土意識を高めるとともに、誇るべき「前橋文化」として積極的に発信し、本市の都市イメージの定着や向上に活用していくことが重要です。

また、都市間競争が激化する中で、本市が魅力ある都市として生き残るためには、都市の顔である「街なか」の再生に取り組むとともに、「前橋の良さ」、「前橋ならではの」を改めて発掘しなおし、「前橋らしさ」をさらに磨きあげ、都市の質（クオリティ）を高めていく必要があります。

かつて前橋産シルクが「Maebashi」の名で世界に発信されていったように、「前橋文化」や「前橋らしさ」を幅広く、効果的に発信しながら、生命都市いきいき前橋は未来への物語を紡いでいきます。

## 重点1

## 都市ブランド形成プログラム

食のブランドづくりやエコライフの定着など、地域特性を活用するさまざまな取り組みから生み出される新しい価値・新たな都市の魅力を「前橋らしさ」として磨き上げ、都市のイメージアップやブランド力向上に活用していきます。

活用にあたっては、情報発信や普及・啓発に留めず、積極的な売り込みを含めた、より戦略的なプロモーションを展開することにより、郷土への愛着心の向上と「前橋ファン」の獲得を目指します。



## 期待される効果

前橋への愛着心・知名度の向上

## 重点2

## にぎわい創出プログラム

街なか全体を舞台としたイベントの開催や交流の場を提供し、中心市街地に文化・交流機能を創出するとともに、街なかを回遊したくなる仕組み・仕掛けづくりに取り組み、街なかのにぎわいを創出します。



## 期待される効果

中心市街地の再生、にぎわい交流空間の創出

## 重点3

## 前橋文化発見創造プログラム

歴史や文化に根ざした学びや体験の場を提供する中で、多くの人々が交流できる仕組みづくりと、潜在的に魅力のある地域資源の新たな活用策を検討・展開します。



## 期待される効果

前橋の魅力を「知る」、「学ぶ」、「伝える」